



Roche ロシュ グループ

# 2007年12月期 連結決算概要

中外製薬株式会社  
取締役専務執行役員 兼 CFO  
児玉 龍三

2008.1.30/31

## 将来見通し

---

本プレゼンテーションには、中外製薬の事業及び展望に関する将来見通しが含まれていますが、いずれも、既存の情報や様々な動向についての中外製薬による現時点での分析を反映しています。

実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により現在の見通しと異なることもあります。

注：本資料の数値は億円未満を四捨五入して表示

%は億円単位で表示された数字で計算

## 損益の概要（前年比）

【億円】	2006/12	2007/12	増減	
				(%)
<b>売上高</b>	3,261	3,448	+187	+5.7
<b>売上原価</b>	1,331	1,373	+42	+3.2
対製商品売上高	40.8%	41.2%		
<b>営業費</b>	801	866	+65	+8.1
対売上高	24.6%	25.1%		
<b>研究開発費</b>	546	542	▲4	▲0.7
対売上高	16.7%	15.7%		
<b>営業利益</b>	583	667	+84	+14.4
対売上高	17.9%	19.3%		
<b>経常利益</b>	609	677	+68	+11.2
対売上高	18.7%	19.6%		
<b>当期純利益</b>	384	401	+17	+4.4
対売上高	11.8%	11.6%		

●売上高       +187億円   (+5.7%)  
P.4～ P.7参照

●営業利益       +84億円   (+14.4%)  
P.8参照

●経常利益       +68億円   (+11.2%)

●当期純利益     +17億円   (+4.4%)

期末日レート（前年）

119.12円 / US\$, 156.57円 / €, 233.70円 / £, 97.44円 / CHF

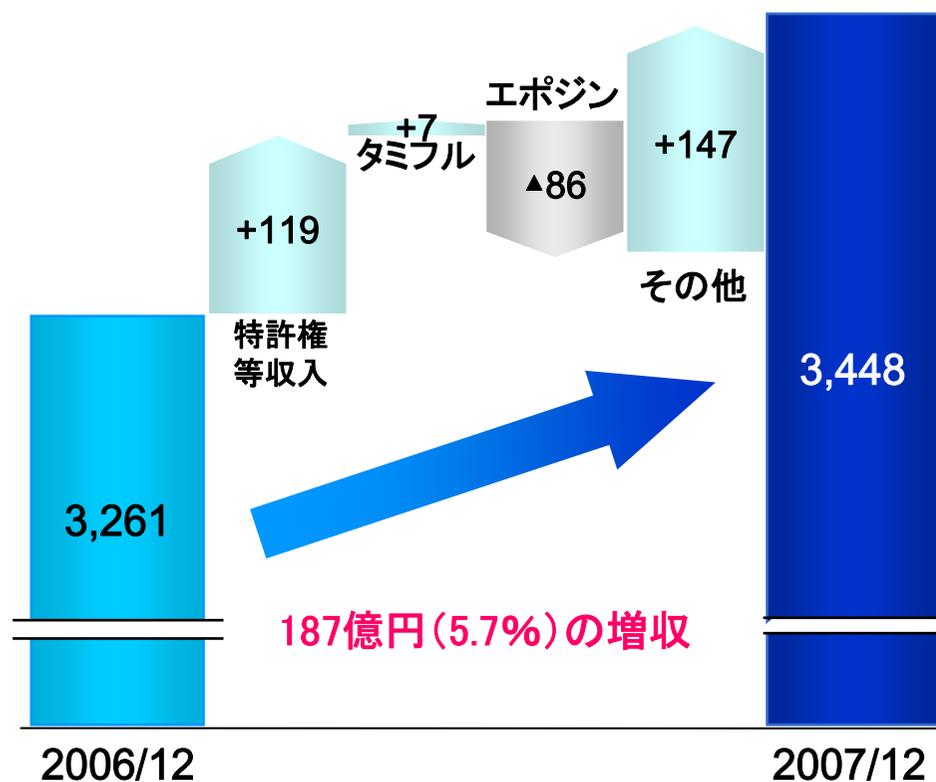
期中平均レート（当年）

117.80円 / US\$, 161.17円 / €, 235.66円 / £, 98.13円 / CHF

# 前年からの増減内訳（売上高）

【億円】

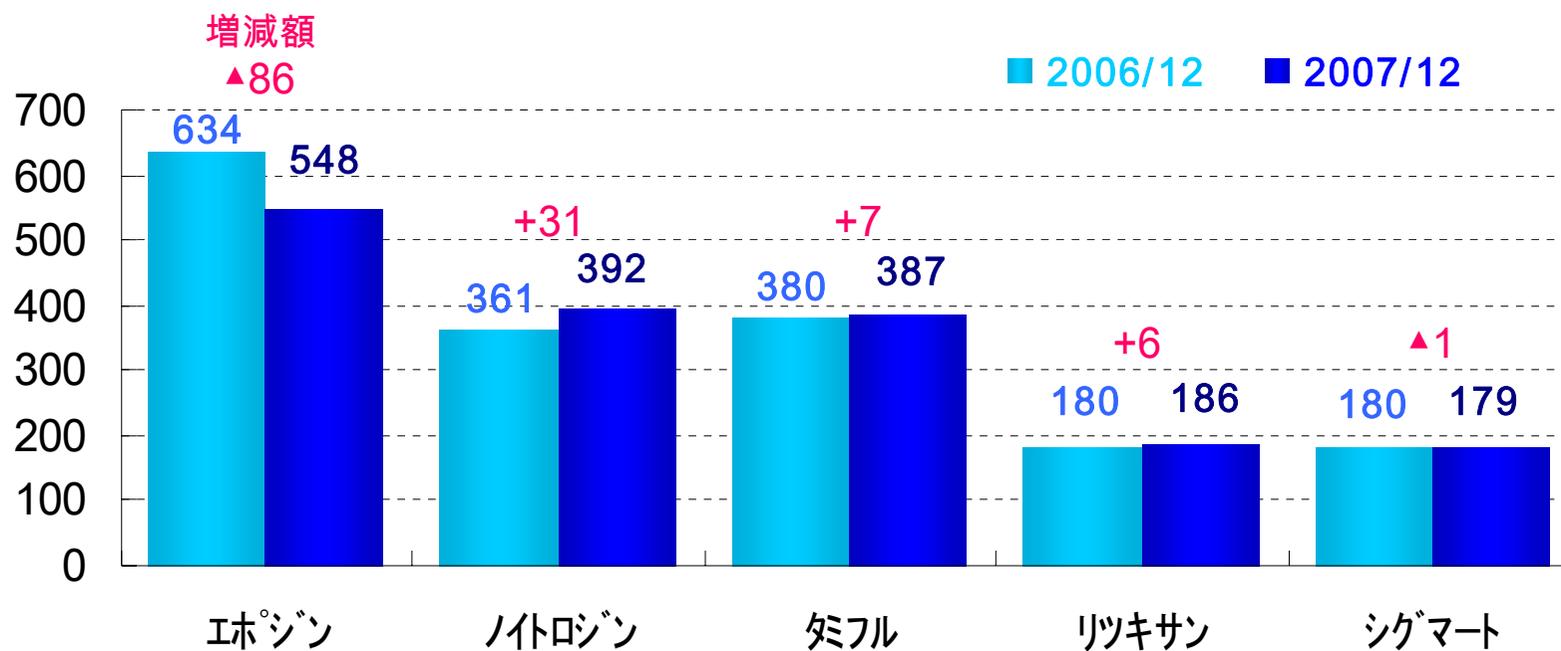
＜売上高の内訳＞



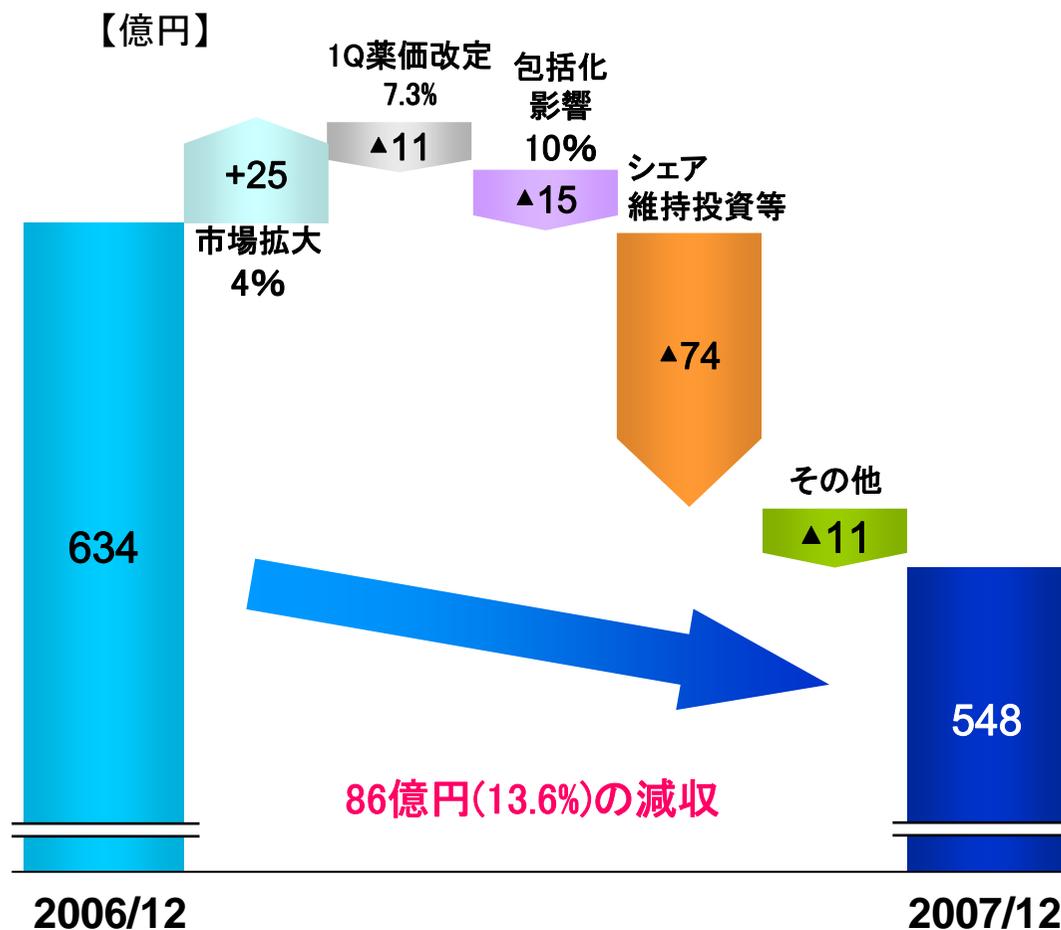
【億円】	2006/12	2007/12	増減	(%)	
売上高	3,261	3,448	+187	+5.7	
製商品売上高	3,261	3,329	+68	+2.1	
タミフル	通常売上	136	102	▲34	▲25.0
	行政備蓄等	244	285	+41	+16.8
	計	380	387	+7	+1.8
タミフルを除く 計	2,882	2,943	+61	+2.1	
エポジン	634	548	▲86	▲13.6	
その他	2,248	2,395	+147	+6.5	
特許権等収入	-	119	+119	N/A	
うち海外	284	364	+80	+28.2	

# 上位5品目の売上高（前年比）

【億円】



# エポジン前同比較 (FY2007 通期)



【億円】	2006/12	2007/12	増減	(%)
1Q	145	120	▲25	▲17.2
2Q	165	162	▲3	▲1.8
上期	310	282	▲28	▲9.0
3Q	141	122	▲19	▲13.5
4Q	184	144	▲40	▲21.7
下期	325	266	▲59	▲18.2
通期	634	548	▲86	▲13.6

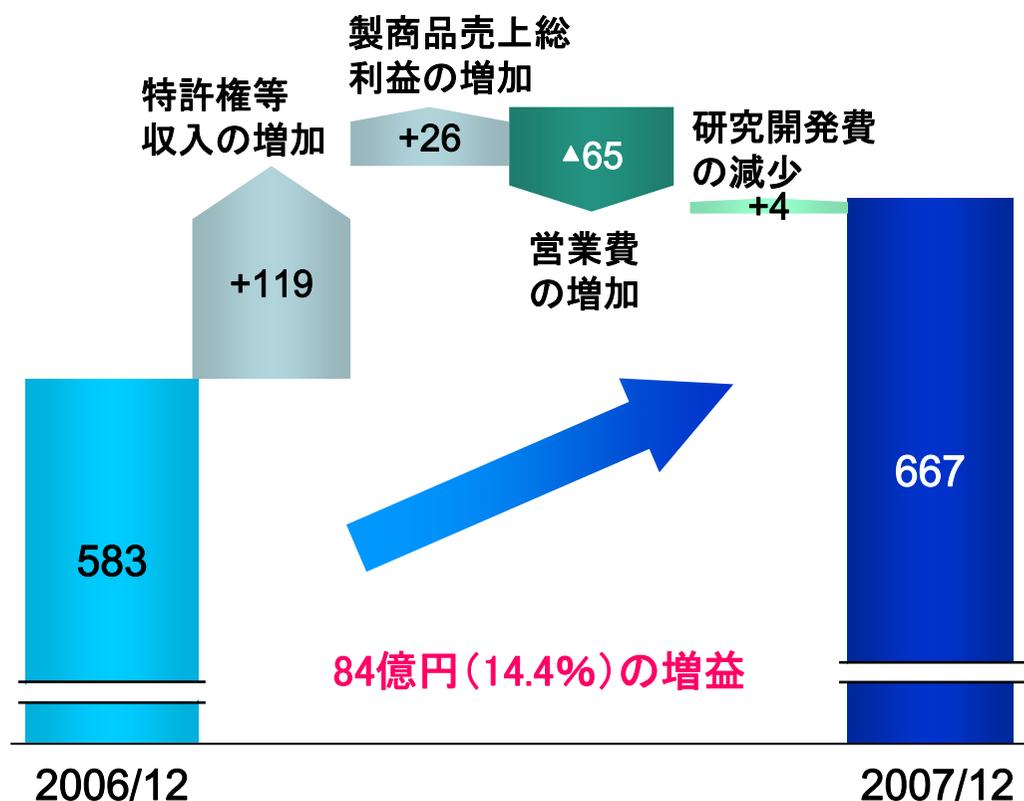
# タミフルの売上状況

【億円】	決算期売上										シーズン 売上	定点観測数* (百万人)	
	2003年3月期		2003年12月期	2004年12月期		2005年12月期		2006年12月期		2007年12月期			
	10-12月	1-3月	4-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月			7-12月
シーズン 通常売上	2002/2003	52	72									<b>124</b>	<b>1.19</b>
	2003/2004			116	72							<b>188</b>	<b>0.77</b>
	2004/2005					14	232					<b>246</b>	<b>1.47</b>
	2005/2006							119	99			<b>218</b>	<b>0.92</b>
	2006/2007									37	50	<b>87</b>	<b>1.06</b>
	2007/2008										52	<b>52</b>	—
<b>通常売上</b>	<b>124</b>	<b>72</b>	<b>116</b>	<b>72</b>	<b>14</b>	<b>232</b>	<b>120</b>	<b>163</b>	<b>216</b>	<b>238</b>	<b>148</b>		
行政 備蓄等	2005/2006						2	65				<b>67</b>	
	2006/2007								179	189		<b>368</b>	
	2007/2008										96	<b>96</b>	
	<b>行政備蓄等</b>						<b>2</b>	<b>244</b>	<b>285</b>			<b>530</b>	
<b>合計売上</b>	<b>52</b>	<b>72</b>	<b>116</b>	<b>72</b>	<b>14</b>	<b>232</b>	<b>120</b>	<b>163</b>	<b>216</b>	<b>238</b>	<b>148</b>		
	<b>124</b>		<b>116</b>	<b>86</b>		<b>352</b>		<b>380</b>		<b>387</b>			

\* 国立感染症研究所「感染症発生動向調査」10月下旬から4月中旬の合計患者数

# 前年からの増減内訳（営業利益）

【億円】



● 営業利益 +84億円

- 特許権等収入の増加 +119億円
- アクテムラマイルストーン収入
- ボンビバマイルストーン収入
- ロシュへの3開発品導出一時金
- 製商品売上総利益の増加 +26億円
- ノイトロジン等売上の増加
- 営業費の増加 ▲65億円
- MR増員
- 新製品等市場導入費の増加
- 市販後調査費の増加
- 研究開発費の減少 +4億円
- 共同開発品比率の増加

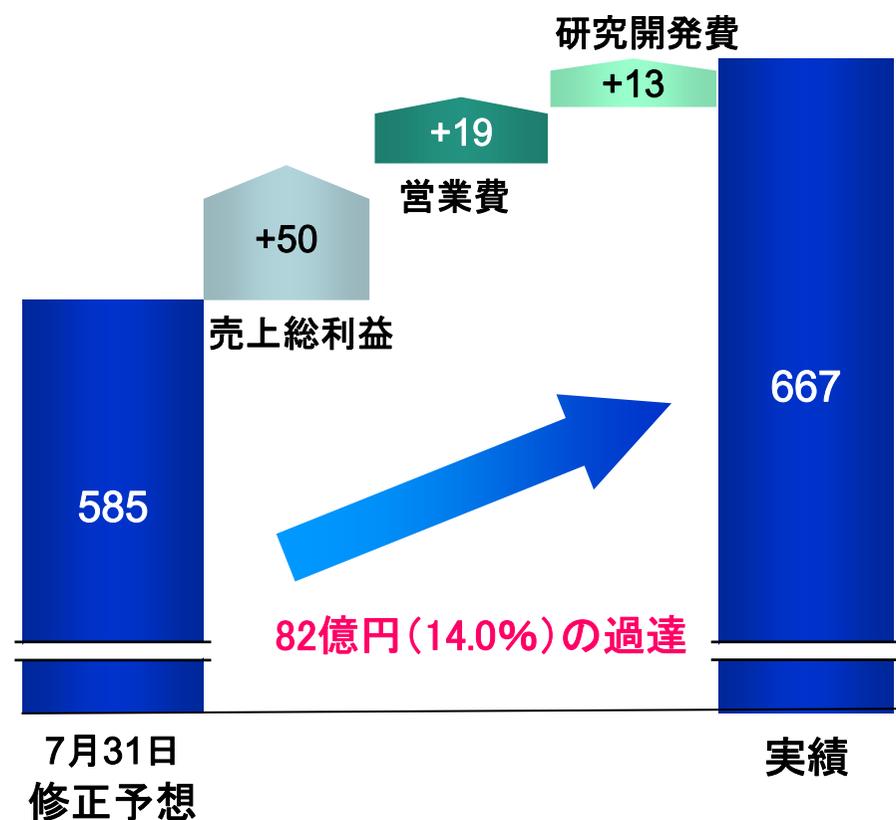
# 損益の概要（業績予想比）

【億円】	7月31日 修正予想	実績	差異	(%)
<b>売上高</b>	<b>3,450</b>	<b>3,448</b>	<b>▲2</b>	<b>▲0.1</b>
<b>売上原価</b>	<b>1,425</b>	<b>1,373</b>	<b>▲52</b>	<b>▲3.6</b>
対売上高	41.3%	39.8%		
<b>営業費</b>	<b>885</b>	<b>866</b>	<b>▲19</b>	<b>▲2.1</b>
対売上高	25.7%	25.1%		
<b>研究開発費</b>	<b>555</b>	<b>542</b>	<b>▲13</b>	<b>▲2.3</b>
対売上高	16.1%	15.7%		
<b>営業利益</b>	<b>585</b>	<b>667</b>	<b>+82</b>	<b>+14.0</b>
対売上高	17.0%	19.3%		
<b>経常利益</b>	<b>575</b>	<b>677</b>	<b>+102</b>	<b>+17.7</b>
対売上高	16.7%	19.6%		
<b>当期純利益</b>	<b>335</b>	<b>401</b>	<b>+66</b>	<b>+19.7</b>
対売上高	9.7%	11.6%		

●売上高	▲2億円（▲0.1%）
アバスチン	▲45億円
ハーセプチン	▲13億円
ノイトロジン	+23億円
タミフル	+7億円
シグマート	+6億円
●営業利益	+82億円（+14.0%）
P.10参照	
●経常利益	+102億円（+17.7%）
●当期純利益	+66億円（+19.7%）

# 業績予想との差異内訳（営業利益）

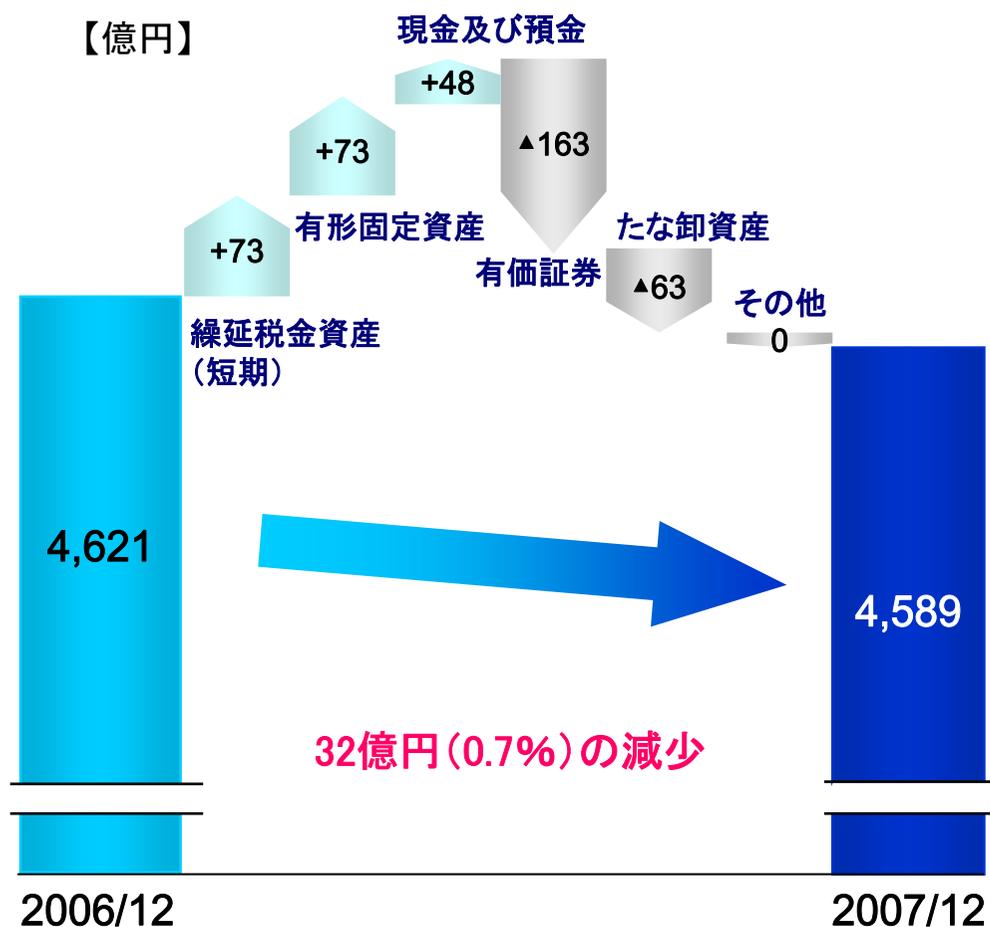
【億円】



●営業利益 +82億円

売上総利益	+50億円
営業費	+19億円
新製品等に関する費用の未消化 販売促進費、MR行動費など 費用の削減 教育費など	
研究開発費	+13億円
アクテムラ製法開発費用の減少	

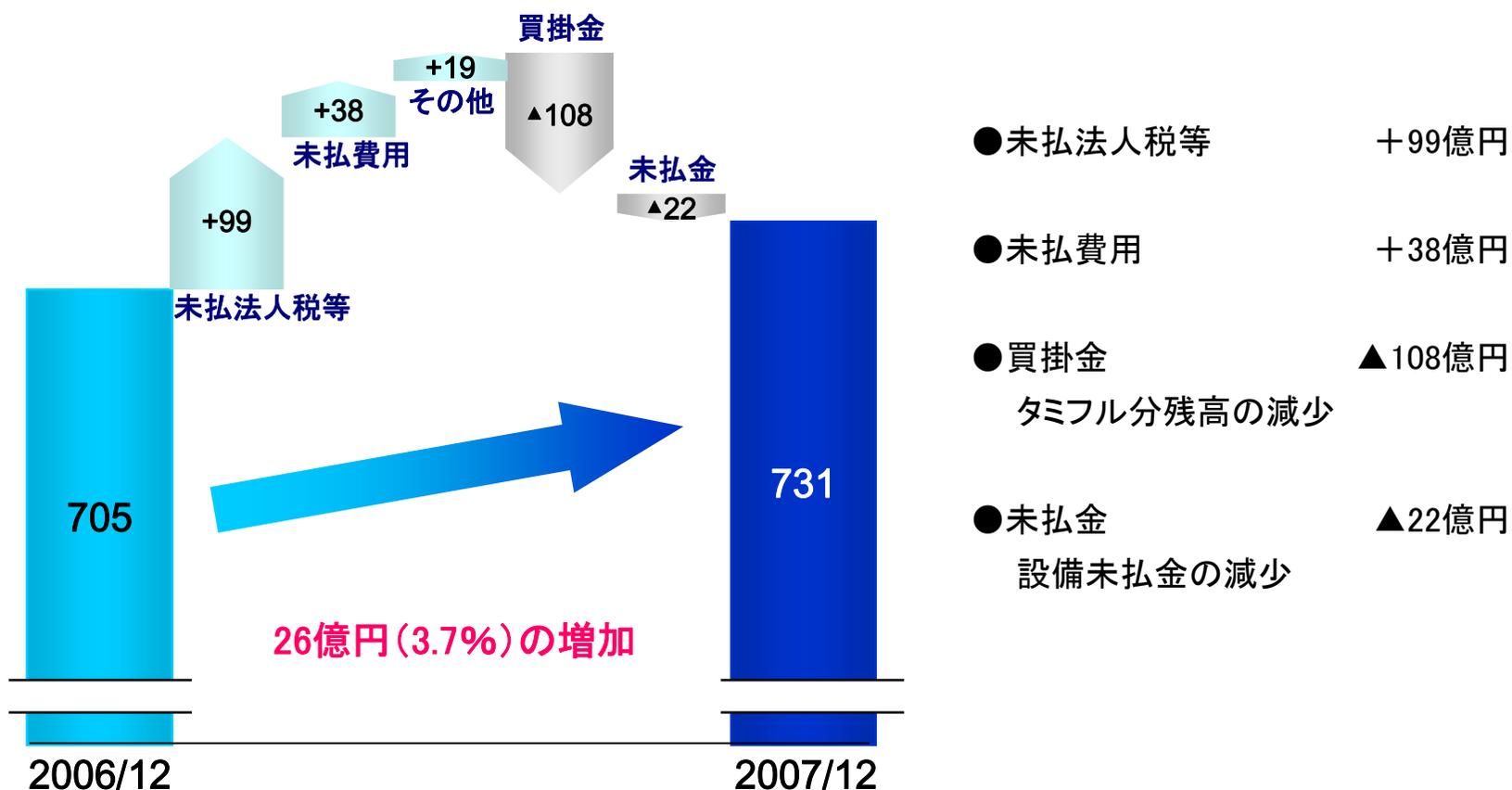
# 貸借対照表/資産の部



- 有形固定資産           +73億円  
固形剤棟(藤枝)、第3注射剤棟(宇都宮)
- 有価証券               ▲163億円  
自己株式取得資金のための取崩
- たな卸資産             ▲63億円  
タミフル在庫の減少

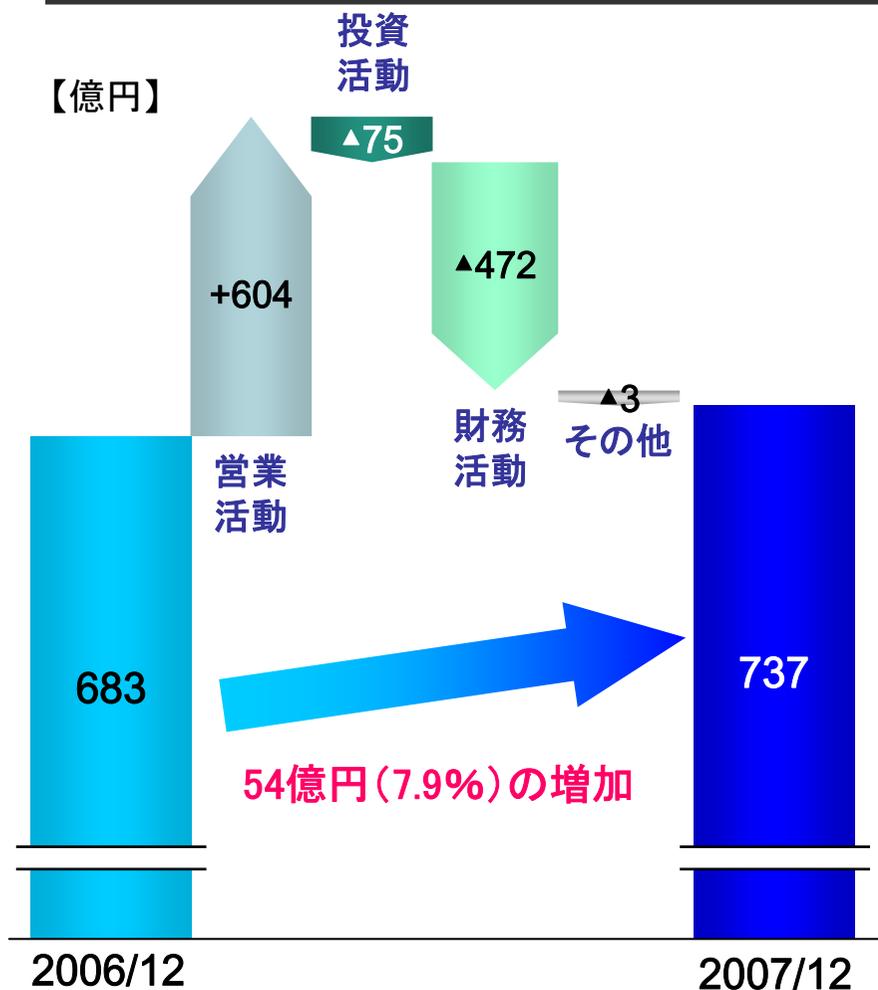
# 貸借対照表/負債の部

【億円】



- 未払法人税等 +99億円
- 未払費用 +38億円
- 買掛金 ▲108億円  
タミフル分残高の減少
- 未払金 ▲22億円  
設備未払金の減少

# キャッシュ・フロー



●営業活動に伴うキャッシュ・フロー +604億円

税前純利益	+664億円
減価償却費等	+149億円
たな卸資産の減少	+62億円
法人税等の支払	▲208億円
仕入債務の減少	▲107億円

●投資活動に伴うキャッシュ・フロー ▲75億円

有価証券・投資有価証券の償還等	+2,442億円
有価証券・投資有価証券の取得	▲2,294億円
固定資産の取得	▲226億円

●財務活動に伴うキャッシュ・フロー ▲472億円

自己株式の増加	▲275億円
配当金の支払	▲181億円

# 次期業績予想

【億円】	2007/12	2008/12
<b>売上高</b>	<b>3,448</b>	<b>3,270</b>
<b>売上原価</b>	<b>1,373</b>	<b>1,415</b>
対売上高	39.8%	43.3%
<b>営業費</b>	<b>866</b>	<b>965</b>
対売上高	25.1%	29.5%
<b>研究開発費</b>	<b>542</b>	<b>575</b>
対売上高	15.7%	17.6%
<b>営業利益</b>	<b>667</b>	<b>315</b>
対売上高	19.3%	9.6%
<b>経常利益</b>	<b>677</b>	<b>312</b>
対売上高	19.6%	9.5%
<b>当期純利益</b>	<b>401</b>	<b>170</b>
対売上高	11.6%	5.2%

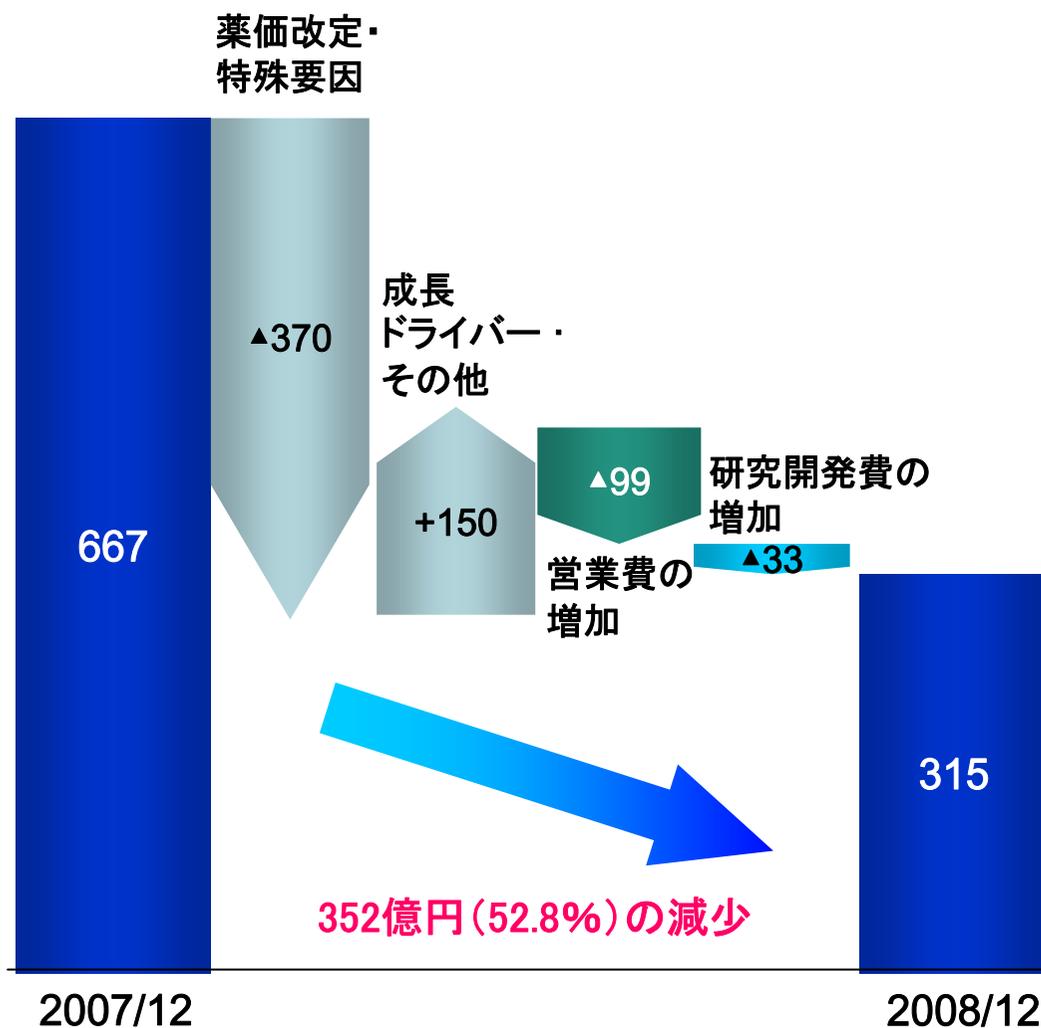
【億円】	2007/12	2008/12	増減	
<b>売上高</b>	<b>3,448</b>	<b>3,270</b>	<b>▲178</b>	
タミフル	通常売上	102	62	▲40
	行政備蓄等	285	12	▲273
	計	387	73	▲314
<b>タミフルを除く 計</b>	<b>3,062</b>	<b>3,197</b>	<b>+135</b>	
エポジン	548	470	▲78	
その他	2,514	2,727	+213	

# 当期実績との差異内訳(売上高)



●売上高	▲178億円
特殊要因	▲504億円
タミフル	▲314億円
サノフィ・アベンティス品	▲112億円
エポジン	▲78億円
成長ドライバー	+491億円
アバスチン	+196億円
ペガシス	+78億円
コペガス	+52億円
ハーセプトン	+55億円
アクテムラ	+43億円
タルセバ	+20億円

# 当期実績との差異内訳 (営業利益)



● 営業利益 ▲ 352億円

薬価改定・特殊要因の減少 ▲ 370億円  
 薬価改定の影響  
 タミフル備蓄等の減少  
 サノフィ・アベンティス品返還  
 エポジン シェア維持投資等

成長ドライバー・その他 + 150億円

営業費の増加 ▲ 99億円  
 新製品・適応拡大品の市場導入・浸透  
 欧州でのアクテムラコプロモーション費用  
 市販後調査・安全対策強化

研究開発費の増加 ▲ 33億円  
 がん領域の適応拡大  
 糖尿病領域等でのprePoC品

## **お問い合わせ先：広報IR部**

### **報道関係者の皆様：広報グループ**

Tel : 03-3273-0881

e-mail : [pr@chugai-pharm.co.jp](mailto:pr@chugai-pharm.co.jp)

**担当：山田、島田、荒木**

### **投資家の皆様：IRグループ**

Tel : 03-3273-0554

e-mail : [ir@chugai-pharm.co.jp](mailto:ir@chugai-pharm.co.jp)

**担当：内田、前田、清水、時田**